

MIYAGI UNIVERSITY

令和6年度

# 科目等履修生募集要項

- ◎ 看護学群
- ◎ 事業構想学群
- ◎ 食産業学群
- 大学院看護学研究科
- 大学院事業構想学研究科
- 大学院食産業学研究科



宮城大学

# I 学群・大学院別事項

## 出願資格

### 【学群分（看護学群、事業構想学群、食産業学群共通事項）】

次のいずれかに該当する方とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣の指定がある方
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- (5) 専修学校の高等課程（文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (6) 文部科学大臣の指定した方（昭和23年5月31日文科省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規定による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
- (8) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた方

### 【大学院分（看護学研究科、事業構想学研究科、食産業学研究科共通事項）】

はじめに

- 1) 宮城大学大学院研究科（博士前期課程）に進学を希望する方は、入学に先行して科目等履修生として大学院研究科の開講科目を履修し、単位を修得すると、その単位を本学大学院研究科入学後の修了要件単位数に換算することができます（10単位まで）。
- 2) 宮城大学大学院研究科（博士前期課程）に進学を希望しない方でも、より専門的な学習を深めたい方は、科目等履修生として大学院研究科の開講科目を履修することができます。
- 3) 1) または2) いずれの場合も、下記の「出願資格」を満たす方が対象となります。

次のいずれかに該当する方とします。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学（以下単に「大学」という。）を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤に規定する文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された方
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した方
- (8) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号の規定により文部科学大臣が指定した方
- (9) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において個別の入学資格審査により、所定の単位を優秀な

成績で修得したと認めの方

(10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めの方で、22歳に達した方

※上記の(9)又は(10)により出願しようとする方は、入学資格審査が必要となります。詳細については、お問い合わせください。

・入学資格審査基準及び審査申請に必要な書類の詳細は5～7ページをご覧ください。

・入学資格審査申請期限：【前期】令和6年1月24日(水)

【後期】令和6年6月10日(月)

・お問い合わせ先：【宮城大学事務局学務課教務第1グループ】

Tel：022-377-8212

E-mail：kyoumu@myu.ac.jp

## II 共通事項

### 1 募集人員

各科目若干名

### 2 出願スケジュール

	前期	後期
入学資格審査 申請受付期間	令和6年1月15日(月)～ 令和6年1月24日(水)	令和6年6月3日(月)～ 令和6年6月10日(月)
入学資格審査 結果通知送付	令和6年2月2日(金)以降	令和6年7月1日(月)以降
出願期間 (必着)	令和6年2月7日(水)～ 令和6年2月16日(金)	令和6年7月8日(月)～ 令和6年7月17日(水)
選考結果通知	令和6年3月8日(金)以降	令和6年8月19日(月)以降
入学手続期間	令和6年3月11日(月)～ 令和6年3月22日(金)	令和6年8月20日(火)～ 令和6年8月30日(金)
履修期間(予定) ※科目により初回 講義日は異なります	令和6年4月8日(月)～ 令和6年8月6日(火)	令和6年9月24日(火)～ 令和7年1月31日(金)

※前期科目及び後期科目の両方の履修を希望する方は、前期に一括出願してください。

### 3 出願手続

(1) 次のA～Iの書類をまとめて出願してください。

A：宮城大学入学願書 [科目等履修生] (様式1-1)

B：振込金(兼手数料)受取書(振込依頼書)(様式1-2)

出願期間内に本書で入学者選抜手数料9,800円を振込み後、振込金(兼手数料)受取書(本人保管用として、金融機関から渡されたもの)を出願書類として様式1-1裏面の所定欄に貼ってください。

C：身上調書(様式2)

D：自己申告書(様式3)

E：最終学歴校の調査書又は成績証明書

F：最終学歴校の卒業(修了)証明書

G：写真(縦4.5cm×横3.5cm 上半身正面無帽、カラー、背景なし)1枚  
(入学願書に貼り付けて提出してください。)

H：住民票(外国人のみ提出、コピーは不可)

※出願時点において既に在留カードが交付されている方は、市区町村が発行する住民票(国籍・在留資格が記載されたもの)を提出してください。在留カードの交付を受けていない方は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出してください。

I：承諾書(様式4、該当者のみ提出)

他の大学等に在学している方は、学校長の承諾書を提出してください。

- (2) 出願は、「簡易書留速達」による郵送としてください。
- (3) 上記の期間を過ぎての出願は受理できませんので、出願期間に注意してください。
- (4) 出願書類の特例  
継続履修の場合、最終学歴校の成績証明書及び卒業（修了）証明書については、コピーでの提出も可能です。
- (5) 出願先  
〒981-3298  
宮城県黒川郡大和町学苑1番地1（大和キャンパス）  
宮城大学事務局学務課教務第1グループ 宛て
- (6) 出願上の注意事項  
出願書類がすべてそろっていない場合は、受理できませんので、出願の際には十分確認してください。なお、一度受理した出願書類、入学者選抜手数料は返還しません。
- (7) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学を取り消すことがあります。

#### 4 在学期間

在学期間は令和6年4月（又は10月）から6ヵ月又は1年です。（履修科目による）

##### ※在学期間の延長

引き続きの在学（継続履修）を希望する場合、出願を行い、履修希望科目の開講学群・研究科において認められると、1年以内に限り在学期間を延長することができます。この場合の出願において、入学選抜手数料の納付は不要です。

#### 5 選抜方法

科目等履修生の選考は書類審査、面接等により実施します。面接を実施する場合は、別途ご連絡いたします。

開講科目ごとの選抜方法については、別紙「令和6年度科目等履修生開講科目一覧表」を参照願います。

#### 6 選考結果

郵送により志願者全員に発送します。選考結果に関する電話等での問い合わせには応じることができませんので、ご了承ください。

#### 7 入学手続

選考結果通知の際に送付する必要書類等を、郵送又は持参により提出してください。

- ① 入学手続に必要な書類（入学金にかかる振込依頼書等）は、選考結果通知の際、本人あてに郵送します。
- ② 郵送の場合は、必ず「簡易書留速達」としてください。入学手続期間最終日必着とします。
- ③ 直接持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。  
（土曜日・日曜日・祝日は受付を行いません。）
- ④ 必要な書類がすべてそろっていない場合には、受理できませんので、書類提出の際には十分確認してください。
- ⑤ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受理できません。なお、期間内に所定の手続きを行わなかった場合、科目等履修生としての入学を辞退したものと取り扱わせていただきます。
- ⑥ 一度受理した書類及び入学金等は、返還しません。
- ⑦ 入学手続先、場所は選考結果通知の際に連絡します。

## 8 入学金及び授業料

種類	金額	納付時期等	※1 入学金について、県内者とは次に該当する方をいいます。 本人又はその親族（配偶者又は一親等の直系尊属に限る。）が本人の入学許可の日前1年間引き続き県内に住所を有する場合 ※2 上記以外に、科目により諸経費が必要となる場合があります。	
入学金	県内者	28,200円		入学時
	県外者	56,400円		入学時
授業料	14,800円 (1単位当り)	【前期】4月30日 【後期】10月31日		

## 9 履修科目

履修科目は別紙「令和6年度科目等履修生開講科目一覧表」のとおりです。履修科目数に上限はありませんが、時間帯によって履修可能科目が限定（重複）されることがありますので、予め了解願います。

※開講曜日・時間帯については令和6年1月現在調整中です。変更になる可能性もありますので、事前に宮城大学事務局教務第1グループ宛てお問合せください。

【宮城大学事務局教務第1グループ】

Tel : 022-377-8212

E-mail : kyoumu@myu.ac.jp

## 10 単位認定

単位は、個々の科目について所定の時間を履修し、試験その他の方法により合格と判定されたときに認定します。授業科目、時間数、単位数は本学学群及び大学院の履修規程に定めるところによります。

## 11 その他

本学ではパソコンを使用する科目があります。科目等履修生として合格した場合、選考結果通知及び必要書類と共にノートパソコンの必要スペックの案内を同封しますので、よく確認し、必要に応じて準備してください。

## 12 通学について

公共交通機関又は自転車・バイク等により通学してください。

自家用車による通学を希望される方は、入学手続きとあわせて申請してください。

【大和キャンパス】

- ・「仙台駅」バスプール2番のりばから、宮城交通バス「宮城大学」行き直通バスにて、「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車 所要時間約50分 片道700円
- ・地下鉄「泉中央駅」バスプール3番のりばから、宮城交通バス「宮城大学経由「泉パークタウン行」」にて、「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車 所要時間約30～35分 片道420円

【太白キャンパス】

- ・「仙台駅」バスプール7番のりばから、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きにて、「宮城大学太白キャンパス前」下車 所要時間約40分 片道510円
- ・「JR長町駅」東口バスプール3番のりばから、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きにて、「宮城大学太白キャンパス前」下車 所要時間約25分 片道350円
- ・地下鉄「長町南駅」バスプール4番のりばから、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きにて、「宮城大学太白キャンパス前」下車 所要時間約20分 片道350円

【入学資格審査基準】

(1) 宮城大学大学院看護学研究科

区 分	対 象	審 査 基 準	
出願資格(9)		英語学力が、英検準1級、TOEIC550点以上、TOEFL ペーパーベーステスト500点以上又はインターネットベーステスト61点以上の実力を有すること。	
	本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学に3年以上在学し(入学時までに在学見込みを含む。)、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めの方	4年制大学3年次在学者又は過年度に4年制大学3年次を修了している方	〔3年次在学者〕 次のいずれにも該当すること。 ① 大学2年次修了時点で、卒業必要単位数の1/2以上を修得し、その評価について最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが8割以上であること。 ② 大学3年次修了時点で、卒業必要単位数の3/4以上を修得見込みであること。
			〔過年度に3年次を修了している者〕 大学3年次修了時点で、卒業必要単位数の3/4以上を修得し、その評価について最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが8割以上であること。
	本学大学院において、個別の入学資格審査により、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(いずれも入学時までに修了見込みを含む。)であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めの方	外国の学校教育制度に基づく高等教育機関(大学等)の在学者(通信教育による課程の履修者を含む。)で、当該国における学校教育の16年の課程のうち15年の課程を修了した者(入学時までに修了見込みの者を含む。)	〔15年の課程修了者〕 15年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の3/4以上を修得し、その評価について最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが8割以上であること。
〔15年の課程修了見込者〕 次のいずれにも該当すること。 ① 14年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の1/2以上を修得し、その評価について、最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが、8割以上であること。 ② 15年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の3/4以上を修得見込みであること。			
外国の学校教育制度に基づく高等教育機関(大学等)の教育課程修了者又は外国の学校が行う通信教育を我が国で履修したことによる修了者(いずれも入学時までに修了見込みの者を含む。)で、当該国における学校教育の課程が15年のもの		〔15年の課程修了者〕 15年の課程修了に必要な単位として修得した単位の評価について、最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが、8割以上であること。 〔15年の課程修了見込者〕 14年の課程修了時点で、15年の課程修了に必要な単位の3/4以上を修得し、その評価について最上位(100点満点換算で80点以上)であるものが8割以上であること。	
出願資格(10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、入学時までに22歳に達した方	出願資格(1)～(9)以外の方	〔資格保有者〕 次の①、②いずれにも該当すること。 ① 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等を卒業していること。 ② 看護師、保健師、助産師のうち1つ以上の資格を有していること。	
	新旧学校制度の移行に際し、法令上明確に規定することの困難な旧制度の学校卒業者等	個別に判断する。	

(2) 宮城大学大学院事業構想学研究所・食産業学研究所

区分	対象	換算方法等	換算方法等	備考
出願資格(9) 大学に3年以上在学し (入学時まで在学見込み 含む。)、本学大学院にお いて、所定の単位を優秀な 成績で修得したと認めた方	4年制大学3年次 在学生及び過年度に おいて4年制大学在 学3年次を修了して いる方	① 大学2年次修了時点で、68単位以上 修得し、かつ、その評価について、最上位 であるものの割合が85%以上であること ② 大学3年次修了時点で、卒業必要単位 として102単位以上修得又は修得見込 みであること ③ 過年度に大学3年次を修了している者 については、②に係る評価について、最上 位であるものの割合が、85%以上である こと	修得単位の成績につい て、評価が数値である場合 は、次の基準により判定す ることとする。 ①最上位評価 ・100点満点換算で80 点以上のもの ②修得単位として認めな いもの ・100点満点換算で6 0点に満たないもの	
出願資格(9) 外国において学校教育に おける15年の課程を修了 し、外国の学校が行う通信 教育における授業科目を日 本国内において履修するこ とにより当該外国における 15年の課程を修了し、又 は我が国において、外国の 大学の課程(その修了者が 当該外国の学校教育におけ る15年の課程を修了した とされるものに限る。)を 有するものとして当該外国 の学校教育制度において位 置付けられた教育施設であ って、文部科学大臣が別に 指定するものの当該課程を 修了し(いずれも入学時ま でに修了見込み含む。)、 本学大学院において、所定 の単位を優秀な成績で修得 したと認めた方	外国の学校教育制 度に基づく高等教育 機関(大学等)の教育 課程修了者又は外国 の学校が行う通信教 育を我が国で履修し た事による修了者 (いずれも入学時ま で修了見込みの者を 含む)で、当該教育課 程が15年の方	① 修了者については、高等教育機関 (大学等。通信教育による課程を含 む。)修了に必要な単位として修得した 単位の評価について、最上位であるもの の割合が85%以上であること ② 修了見込みの者については、14年の 課程修了時点で、高等教育機関(大学等 。通信教育による課程を含む。)を修了 するために必要な単位の80%以上を修 得し、かつその評価について最上位であ るものの割合が85%以上であること	修得単位の成績につい て、評価が数値である場合 は、次の基準により判定す ることとする。 ①最上位評価 ・100点満点換算で80 点以上のもの ②修得単位として認めな いもの ・100点満点換算で60 点に満たないもの	本区分において認定基 準を満たさない者について 、研究歴等の加算による出 願資格(10)での出願資 格認定を妨げない
出願資格(9) 外国において学校教育に おける15年の課程を修了 し、外国の学校が行う通信 教育における授業科目を日 本国内において履修するこ とにより当該外国における 15年の課程を修了し、又 は我が国において、外国の 大学の課程(その修了者が 当該外国の学校教育におけ る15年の課程を修了した とされるものに限る。)を 有するものとして当該外国 の学校教育制度において位 置付けられた教育施設であ って、文部科学大臣が別に 指定するものの当該課程を 修了し(いずれも入学時ま でに修了見込み含む。)、 本学大学院において、所定 の単位を優秀な成績で修得 したと認めた方	外国の学校教育制 度に基づく高等教育 機関(大学等)の在学 生(通信教育による課 程の履修生を含む。)で 、当該国における学校 教育の16年の課程 のうち、15年の課程 を修了又は入学時ま でに修了見込みのもの	① 14年の課程修了時点で、高等教育機 関(大学等。通信教育による課程を含む 。)修了に必要な単位として修得した単位の 評価について最上位であるものの割合が 85%以上であること ② 15年の課程修了時点で、高等教育機 関(大学等。通信教育による課程を含む 。)修了に必要な単位の80%以上を修 得又は修得見込みであること ③ 過年度に15年の課程を修了してい る者については、②に係る評価について 、最上位であるものの割合が85%以上 であること		
出願資格(10) 本学大学院において、個 別の入学資格審査により、 大学を卒業した者と同等以 上の学力があると認めた者 で、入学時まで22歳に 達した方	学校教育法に定め る学士の学位を授与 されていない者(出願 資格(8)及び学士の 学位取得見込み者を 除く。)	① 16年から最終学歴までの修業年数(中 退の場合は、中退時の前年度に在籍した 学年までの修業年数とする。以下同じ。) を控除した年数を大学、短大、官公庁、研 究所又は民間企業等において、教育又は研 究部門で教育職又は研究職に従事した者 ② 大学等において、科目等履修生として 、修得した単位について、34単位ごと に大学在学1年と換算し、16年から最 終学歴までの修業年数を控除した年数を 当該換算年数で充足した者 ③ 有職者で在職中に各種教育機関にお ける研修歴がある場合は、研修時間15時 間を1単位として、34単位ごとに大学在 学1年と換算し、16年から最終学歴ま での修業年数を当該換算年数で充足した 者 ④ 修業年限が4年以上であることその 他の文部科学大臣が定める基準を満た す専修学校の専門課程を文部科学大臣 が指定する日以前に修了した者 ⑤ 実務経験・業績等をもって認定する 者については、個別に判断する	① 研究従事は大学及び短 大又は高等専門学校の専 攻科等における研究生を 含む。 ①～③ ・期間の計算は年単位と し、1年に満たない月数は 切り捨てるものとする。 ・16年から最終学歴ま での修業年数を控除した年 数の充足は、①～③の年 数の合算によるものを妨 げない。	大学修了までの学校教 育における課程が16年 に満たない国において大 学の課程を修了した者の うち、中国の教育課程出 身者で期間が不足する場 合の不足期間は1年とす る。
	新旧学校制度の移 行に際し、法令上明確 に規定することの困 難な旧制度の学校卒 業者等	個別に判断する		本区分において認定基 準を満たさない者について 、研究歴等の加算による出 願資格(9)上段での出願 資格認定を妨げない。た だし、この場合において、 法令上明確に規定できる 旧制度の学校を最終学歴 と見なす。
各出願資格共通事項	各区分ごとの認定 基準以外の経歴・業績 等を有する方	上記認定基準に加え、優れた業績、取 得資格等がある場合は、個別に判断し、 認定基準を緩和又は認定基準充足に換 算することもあり得る。	認定基準緩和又は換算 方法については、個別に 判断する。	



【入学資格審査申請書類】

入学資格審査申請書		本学様式 A票
履歴書		本学様式 B票
自己申告書		本学様式 C票
業績一覧		本学様式 D票
入学資格認定 基準に係る証 明書類	成績証明書	
	卒業（見込）証明書	
	免許の写し	各資格免許のもの
戸籍抄本		証明書類の氏名が現在の氏名と異なる場合に提出

- ※ 入学資格審査申請を行う方は、上表の書類を取りそろえ、  
【前期】令和6年1月24日（水）  
【後期】令和6年6月10日（月）までに  
 申請すること。
- ※ 入学資格審査申請に必要な本学様式 A～D 票については、本学ウェブサイト  
[\(http://www.myu.ac.jp/\)](http://www.myu.ac.jp/) からダウンロードすることができます。
- ※ ダウンロードした様式に PC 等で入力が可能ですが、紙媒体での提出をお願いします。



## 令和 6 年度 宮城大学入学願書 [科目等履修生]

フリガナ				(写真貼付欄) 最近 3 か月以内に撮影したものを貼付すること	
志願者氏名			男女		
生年月日	昭和・平成・西暦	年	月		日生
職業					
最終学歴					
現住所	郵便番号	—	電話番号 ( )	—	
連絡先	郵便番号	—	電話番号 ( )	—	
	E-mail アドレス		@		
*以下は外国人の志願者のみ記入すること					
国籍			在留資格		
在留期間					

【事務局記載  新規  継続】

履修希望科目 (希望する科目を別表より漏れなく転記するほか、学群分・大学院分いずれかの該当する区分を○で囲んでください。)

希望科目	単位数	曜日	時限	担当教員氏名
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				

(注) 履修希望科目が 5 科目以上の場合は、この用紙をコピーして記入してください。

●科目等履修生入学者選拔手数料「振込金（兼手数料）受取書」貼付

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for pasting a document. The box is positioned centrally on the page below the instruction text.

令和6年度 宮城大学・宮城大学院 科目等履修生 入学選抜手数料振込依頼書

振込期間 【前期】令和6年2月7日(水)～2月16日(金)  
【後期】令和6年7月8日(月)～7月17日(水)

選抜手数料  
納付

公立大学法人宮城大学

<注意事項>

- 必ず下記振込依頼書によりお振込みください
- 振込手数料は、各自ご負担ください。
- ATM(現金自動受払機)は使用しないでください。

(問い合わせ先)

宮城大学事務局学務課教務第1グループ 電話:022-377-8212

振込金(兼手数料)受取書

ご依頼日	令和 年 月 日
金額	9,800円
先方銀行	七十七銀行 泉支店
受取人	預金種目 普通 口座番号 9168281 なまえ 公立大学法人 宮城大学
ご依頼人	フリガナ 氏名 様
備考	※添付する学歴又は研究科を記入してください。 学群 研究科 手数料 円 上記の金額正に受取りました。 (取扱店) 銀行 収入 印紙 店 度

(取扱店一ご依頼人)

振込依頼書(入学者選抜手数料)

令和 年 月 日	電信扱	手数料	円
七十七銀行 泉支店	金額	9,800円	
預金種目 普通 口座番号 9168281	現金		
フリガナ 氏名 様	内取		
ご依頼人 (おとこ) 千 -	取納印または振替印		
学類コード 82			
フリガナ			
受取人 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1 公立大学法人 宮城大学 (電話) 022-377-8212			

本線の中だけご記入ください。

金額欄に置かれますは、「学類コード」と「フリガナ」を続けて打電されるようお願いいたします。(取扱店保管)

令和6年度 科目等履修生

## 身 上 調 書

フリガナ		昭和			
氏 名		生年月日	平成	年	月 日生
			西暦		
学 歴					
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
職 歴					
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
そ の 他					
年	月				
年	月				
年	月				

(注) 学歴欄は、中学校卒業からすべての入学、卒業を記入すること。

様式 3

令和 6 年度 科目等履修生

自 己 申 告 書

あなたが本科目を志願した理由等を志願者本人が自筆で記入してください。

希望科目名： \_\_\_\_\_ 氏<sup>フリ</sup>名<sup>ガナ</sup> \_\_\_\_\_

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

令和 6 年度 科目等履修生

自 己 申 告 書

あなたが本科目を志願した理由等を志願者本人が自筆で記入してください。

希望科目名： \_\_\_\_\_ 氏<sup>フリ</sup>名<sup>ガナ</sup> \_\_\_\_\_

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

(注) 希望科目が 3 科目以上の場合は、この票をコピーの上、記入、提出してください。

令和6年度 科目等履修生

# 承 諾 書

宮城大学長 殿

住 所

学 校 名

学 校 長

印

[大学担当部署]

下記学生が、宮城大学科目等履修生として貴校へ在学することを承諾します。

記

令和 年 月 日

住 所

志願者氏名

学 籍 番 号

## 令和6年度 科目等履修生 開講科目一覧表

※シラバスは本学ウェブサイト (<http://www.myu.ac.jp/>) からも見ることができます。

(「一般・地域の方へ」 → 「科目等履修生」 → 「出願資格・開講科目等」 → 「シラバス」)

<b>開講科目</b>
(大和キャンパス) 前期: 令和6年4月8日～令和6年8月5日 後期: 令和6年9月24日～令和7年1月29日 (予定)
(太白キャンパス) 前期: 令和6年4月8日～令和6年8月5日 後期: 令和6年9月27日～令和7年1月31日 (予定)

### ◆大和キャンパス提供科目

(看護学群、事業構想学群、大学院看護学研究科(前期課程)、事業構想学研究科(前期課程))

開講年次	科目名	カテゴリー分類	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
看護学群(専門教育科目)								
1	人間発達学		2	平泉 拓	前期	水1	書類	
1	医療倫理学		2	菅原 よしえ(伊藤道哉)	前期	火4	書類	
1	形態機能学Ⅰ		1	武田 和久	前期	火5	書類	
1	形態機能学Ⅱ		1	風間 逸郎	前期	月3	書類	
1	看護学原論		2	木村 眞子	前期	火2	書類	
2	保健行動科学		2	平泉 拓	前期	火3	書類	
2	社会福祉学		2	菅原よしえ(元村智明)	前期	木2	書類	
2	学校保健論		2	相楽 直子	前期	水1	書類	
2	病態学		2	武田 和久	前期	火1	書類	
2	疾病論Ⅰ		1	風間 逸郎	前期	水2	書類	
2	疾病論Ⅱ		1	風間 逸郎	前期	火2	書類	
2	看護情報学Ⅰ		1	萩原 潤	前期	金1	書類	
2	ライフステージ看護学概論Ⅱ		2	谷津 裕子	前期	金4	書類	遠隔での講義に対応できること。一部日程変更に対応できること
2	地域看護学概論		2	高橋 和子	前期	木1	書類	グループワーク、演習に参加できること。遠隔講義に対応できること。
2	成人看護援助論Ⅰ		2	菅原 よしえ	前期	木3	書類	
2	老年看護援助論Ⅰ		2	沢田 淳子	前期	木4	書類	グループワーク、演習、遠隔での講義に対応できること。
3	保健医療福祉行政論		2	高橋 和子(吉田 裕人)	前期	月5	書類	遠隔での講義に対応できること。
3	リハビリテーションケア論		2	齊藤 奈緒	前期	火1	書類	遠隔での講義に対応できること。一部日程変更に対応できること
3	母性看護援助論Ⅱ		2	谷津 裕子	前期	木3	書類	グループワーク・演習・遠隔での講義に対応できること。一部日程変更に対応できること。
3	成人看護援助論Ⅱ		2	鈴木 敦子	前期	金4	書類	グループ作業あり、参加できること。日程変更に対応できること。
3	成人看護援助論Ⅲ		2	菅原 亜希	前期	月4	書類	
3	老年看護援助論Ⅱ		2	内海 史子	前期	金5	書類	グループワーク、演習、遠隔での講義に対応できること。
3	精神看護援助論Ⅱ		2	小松 容子	前期	木2	書類	演習やグループワークに参加できること。日程変更および遠隔講義に対応できること。
3	地域看護援助論		2	坂東 志乃	前期	火3	書類	演習に参加できること。日程変更ならびに遠隔講義に対応できること。
3	看護マネジメントⅠ		2	木村 三香	前期	月3	書類	演習あり。日程変更および遠隔授業に対応できること。事前課題・事後課題に対応できること。
3	在宅看護援助論Ⅱ		2	高橋 和子	前期	火2	書類	紙上事例での看護過程の展開、グループワーク、遠隔での講義に対応できること。事前課題・事後課題に対応できること。
3	公衆衛生看護援助論Ⅰ		2	江角 伸吾	前期	火2	書類	
4	応用看護情報学		1	萩原 潤	前期	水5	書類	
4	看護学研究法		2	齊藤 奈緒	前期	金3	書類	授業日の日程変更に対応できること(4~5月中旬に集中開講/3~4コマ/週)
4	国際比較看護論		2	小松 容子	前期	水4	書類	グループワーク、学外演習に参加できること。授業日の日程変更、遠隔講義に対応できること。
4	救急・災害看護論		2	稲山 真	前期	火4	書類	
4	看護マネジメントⅡ		2	木村 三香	前期	木1	書類	演習あり。日程変更および遠隔授業に対応できること。事前課題・事後課題に対応できること。
4	緩和ケア論		2	菅原 よしえ	前期	月2	書類	



開講年次	科目名	カテゴリー分類	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
看護学群（専門教育科目）								
1	臨床心理学		2	平泉 拓	後期	月3	書類	
1	人間関係論		2	真覚 健	後期	月4	書類	
1	形態機能学Ⅲ		1	武田 和久	後期	水1	書類	
1	薬理学		2	武田 和久	後期	火4	書類	
1	公衆衛生学		2	萩原 潤	後期	金3	書類	
1	ライフステージ看護学概論Ⅰ		2	菅原 よしえ	後期	火3	書類	
1	災害活動論		2	高橋 和子	後期	月5	書類	事前・事後学習、レポート課題の対応と、グループワーク、演習への参加ができること。演習の際の日程変更、遠隔講義に対応できること。
1	看護技術論		2	木村 眞子	後期	木1	書類	事前・事後課題を行ったうえでグループワーク、演習に参加できること。演習の際の日程変更に対応できること。
2	栄養学		2	菅原 よしえ（星 清子）	後期	水2	書類	
2	疫学Ⅰ		2	萩原 潤	後期	月2	書類	
2	疾病論Ⅲ		1	風間 逸郎	後期	金3	書類	
2	看護情報学Ⅱ		1	萩原 潤	後期	木4	書類	
2	家族看護論		2	小松 容子	後期	月5	書類	グループワークに参加できること。日程変更および遠隔講義に対応できること。
2	看護英語		1	小松 容子	後期	水1	書類	日程変更ならびに遠隔講義に対応できること。学外演習に参加できること。
2	母性看護援助論Ⅰ		2	谷津 裕子	後期	火2	書類	グループワーク・演習・遠隔での講義に対応できること。一部日程変更に対応できること。
2	小児看護援助論Ⅰ		2	三上 千佳子	後期	金4	書類	演習に参加できること。日程変更ならびに遠隔講義に対応できること。
2	精神看護援助論Ⅰ		2	小松 容子	後期	月3	書類	日程変更ならびに遠隔講義に対応できること。
2	在宅看護援助論Ⅰ		2	花里 陽子	後期	金5	書類	グループワーク、遠隔での講義に対応できること。レポート課題、事前課題・事後課題に対応できること。
2	公衆衛生看護学原論		2	江角 伸吾	後期	火4	書類	グループワークに参加できること。日程変更ならびに遠隔講義に対応できること。
4	疫学Ⅱ		2	萩原 潤	後期	火3	書類	
4	代替療法		2	菅原 よしえ	後期	火5	書類	授業日の日程変更に対応できること
4	災害看護支援論		2	霜山 真	後期	集中	書類	

開講年次	科目名	カテゴリー分類	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
看護学群（教職に関する科目）								
2	養護概説		2	相樂 直子	後期	木1	書類	
3	健康相談活動		2	相樂 直子	前期	水3	書類	
3	教職論		2	後藤 篤	前期	木1	書類	
4	教育の方法		2	真覚 健	前期	月3	書類	
2	教育学概論		2	後藤 篤	前期	金2	書類	
2	教育心理学		2	真覚 健	前期	木5	書類	
2	教育課程論		2	後藤 篤	後期	金2	書類	
2	教育相談の基礎と方法		2	真覚 健	後期	火5	書類	
4	特別支援教育		1	後藤 篤	前期	火2	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
事業構想学群（学類共通科目）							
1	事業構想学概論	2	徳永 幸之	前期	月3	書類	
1	価値創造デザイン基礎	1	価値創造デザイン学類長	後期	金1	書類	
1	事業プランニング基礎	1	事業プランニング学類長	後期	金1	書類	
1	地域創生基礎	1	地域創生学類長	後期	木2	書類	
1	地域活性化とビジネス	1	地域創生学類長	後期	木2	書類	
1	イノベーションデザイン特別演習Ⅰ	1	澁田 一夫	集中	集中	書類	
1	事業構想特別講義Ⅲ	1	澁田 一夫	集中	集中	書類	
2	キャリアデザインⅠ	2	高橋修	前期	水1	書類	
2	データサイエンス	2	太田 賢	前期	金1	書類	
2	キャリアデザインⅡ	2	高橋修	後期	水1	書類	
2	インターンシップ	2	高橋修	通年	水3	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時間	選考方法	履修条件
事業構想学群 (専門科目)							
2	ビジネスモデル論	2	糟谷 昌志	前期	木 5	書類	土曜日の開講あり
2	ミクロ経済学	2	金子 浩一	前期	木 4	書類	
2	ビジネスコミュニケーション	2	澁田 一夫	前期	月 3	書類	
2	法学概論	2	内田 直仁	前期	金 2	書類	
2	経営学概論	2	高橋 修	前期	木 1	書類	
2	スタートアップ経営論	2	高山 純人	後期	木 1	書類	
2	消費者心理学	2	安藤 裕	後期	月 4	書類	
2	数理計画	2	徳永 幸之	後期	水 4・5	書類	
3	ゲーム理論	2	金子 浩一	前期	木 2	書類	
2	ビジネスと情報	2	大嶋 淳俊	前期	火 2	書類	
2	経営戦略論	2	高橋 修	後期	金 3	書類	
2	マーケティング	2	高山 純人	後期	火 3	書類	
2	eビジネス	2	大嶋 淳俊	後期	木 3	書類	
3	マーケティングリサーチ	2	安藤 裕	前期	火 3	書類	
3	販売促進	2	高山 純人	前期	月 3	書類	
3	ビジネスプロセス論	2	大嶋 淳俊	後期	木 3	書類	
3	現代企業論	2	高橋 修	後期	木 4	書類	
2	簿記会計	2	内田 直仁	前期	火 5	書類	
2	管理会計	2	絹村 信俊	前期	木 2	書類	
2	経営組織論	2	櫻木 晃裕	後期	木 3	書類	
2	財務会計	2	内田 直仁	後期	金 2	書類	
3	人的資源管理論	2	櫻木 晃裕	前期	木 4	書類	
3	CSR・CSV	2	内田 直仁	前期	水 4～5	書類	
3	意思決定会計	2	絹村 信俊	後期	水 4～5	書類	
3	ビジネスコンプライアンス	2	内田 直仁	前期	土 3～4	書類	
2	地域学	2	地域創生学類長	前期	木 2	書類	
2	地域実践演習a	1	青木 孝弘	前期	月 1	書類	
2	行政学	2	小沢 晴司	前期	火 1	書類	
2	地域調査法	2	藤澤 由和	前期	木 3	書類	
2	地域企業論	2	青木 孝弘	前期	月 3	書類	
2	非営利経営論	2	齊藤 祐介	前期	火 5	書類	
2	国土・地域計画	2	石内 鉄平	前期	月 5	書類	
2	災害の科学 (土)	2	千葉 克己	前期	木 4	書類	
2	国際協力論	2	郷古 雅春	前期	月 5	書類	
2	防災計画	2	中沢 峻	前期	月 1	書類	
2	ライフデザイン	2	齊藤 祐介	集中	集中	書類	
2	ソーシャルビジネスプロデュース	2	高山 純人	集中	集中	書類	
2	ボランティア論	2	齊藤 祐介	集中	集中	書類	
2	環境地理学	2	高橋 信人	後期	月 1	書類	
2	公共経営	2	藤澤由和	後期	土 2・3	書類	
2	コミュニティビジネス	2	宮崎 義久	後期	火 5	書類	
2	地域分析学	2	石内 鉄平	後期	火 2	書類	
2	都市計画	2	石内 鉄平	後期	火 1	書類	
2	地域プロジェクトマネジメント	2	(三好 崇弘), 宮崎義久	集中	調整中	書類	
2	ローカルベンチャー論	2	青木 孝弘	後期	火 3	書類	
2	地域資源論	2	佐々木 秀之	後期	木 5	書類	
2	地域社会学	2	藤澤 由和	後期	木 4	書類	
2	コミュニティ・プランナー実践論	2	中沢 峻	後期	水 4	書類	
3	グローバル共生論	2	郷古 雅春	前期	月 2	書類	
3	交通計画	2	徳永 幸之	前期	月 5・金 4	書類	
3	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習Ⅰ	2	佐々木 秀之	前期	木 5	書類	
3	コモンズデザイン論	2	宮崎 義久	前期	木 5	書類	
3	災害の科学 (水)	2	郷古 雅春	前期	金 3	書類	
3	地域環境政策	2	小沢 晴司	前期	火 3	書類	
3	地域医療福祉政策論	2	糟谷 昌志	前期	水 2	書類	
3	地域環境計測	2	千葉 克己	前期	火 4	書類	
3	地理情報分析	2	高橋 信人	前期	火 2	書類	
3	社会起業論	2	佐々木 秀之	前期	木 5	書類	
3	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習Ⅱ	2	佐々木 秀之	後期	調整中	書類	
3	公法	2	仲宗根 卓	後期	水 1	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
事業情想学群 (専門科目)							
3	農業農村振興論	2	郷古 雅春	後期	木5	書類	
3	景観工学	2	小沢 晴司	後期	火2	書類	
3	ソーシャル・キャピタル	2	藤澤 由和	後期	金4	書類	
3	水士環境技術	2	千葉 克己	後期	木4	書類	
2	情報と環境	2	蒔苗 耕司	前期	木2	書類	
2	色彩と形態	2	佐藤 宏樹	前期	金4	書類	
2	身体と認識	2	茅原 拓朗	前期	月2	書類	
2	素材と加工	2	土岐 謙次	後期	月1	書類	
2	編集・広告デザイン	2	中田 千彦	後期	木4	書類	
3	風土・伝統デザイン	2	土岐 謙次	前期	木1	書類	
3	構造と機能	2	中田 千彦	前期	金1	書類	
3	プロジェクトマネジメント	2	須栗 裕樹	前期	金4	書類	
3	デザインマネジメント	2	益山 詠夢	後期	火1	書類	
2	インテリアデザイン		伊藤 真市	前期	火2	書類	
2	プロダクトデザイン	2	益山 詠夢	後期	金3	書類	
3	感性デザイン評価法	2	茅原 拓朗	前期	月5	書類	
2	感性情報デザイン演習Ⅰ	2	鈴木 優	前期	木2	書類	
2	メディアプログラミング	2	佐藤 宏樹	前期	木4	書類	
2	感性情報デザイン演習Ⅱ	2	鈴木 優	後期	金4～5	書類	
2	コンピュータアルゴリズム	2	太田 賢	後期	火5	書類	
2	ウェブプログラミング	2	佐藤 宏樹	後期	月3	書類	
2	フィジカルコンピューティング	2	鈴木 優	後期	金2	書類	
2	ユーザビリティ	2	茅原拓朗	後期	木2・3	書類	
3	感性情報デザイン演習Ⅲ	3	蒔苗 耕司	前期	火3～5	書類	
3	インタフェースデザイン	2	鈴木 優	前期	木3	書類	
3	コンピュータグラフィクス	2	蒔苗 耕司	前期	火2	書類	
3	情報システムデザイン	2	太田 賢	前期	金2	書類	
3	感性情報デザイン演習Ⅳ	3	鈴木 優	後期	火1～3	書類	
3	人工知能とデザイン	2	太田 賢	後期	金1	書類	
3	空間情報コンピューティング	2	蒔苗 耕司	後期	火5	書類	
3	音響・映像デザイン	2	茅原 拓朗	後期	金4～5	書類	
3	情報サービスデザイン	2	須栗 裕樹	後期	火4	書類	
2	建築概論	2	平岡善浩	前期	木3	書類	
2	生活環境デザイン演習Ⅰ	2	平岡 善浩	前期	木4～5	書類	
2	建築史	2	平岡 善浩	前期	木4	書類	
2	都市と文化	2	小地沢 将之	前期	火1	書類	
2	生活環境デザイン演習Ⅱ	2	平岡 善浩	後期	火4・5	書類	
2	建築計画	2	永井 秀幸	後期	木5	書類	
3	環境心理・行動学	2	本江 正成	前期	水4	書類	
3	生活環境デザイン演習ⅢA	3	平岡 善浩	前期	火3～5	書類	
3	生活環境デザイン演習ⅢB	3	土岐 謙次	前期	月3～5	書類	
3	材料学	2	平岡 善浩	前期	金2	書類	
3	建築意匠論	2	中田 千彦	前期	月2	書類	
3	IoT建築論	2	本江 正成	前期	火2	書類	
3	生活環境デザイン演習ⅣA	3	平岡 善浩	後期	木1～3	書類	
3	生活環境デザイン演習ⅣB	3	土岐 謙次	後期	月2～4	書類	
3	地区・街区計画	2	小地沢 将之	後期	金1	書類	
3	コンペティティブ設計論	2	中田 千彦	後期	木5	書類	
4	建築コスト	2	平岡 善浩	前期	火5	書類	
4	ファシリティマネジメント	2	永井 秀幸	前期	木1	書類	
4	サステナブルデザイン	2	小地沢 将之	前期	月5	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
大学院 看護学研究科 (博士前期課程)							
1	看護研究特論	2	高橋 和子	前期	木 4	書類	看護研究の基礎を学んだことがあり、看護研究を行ったことがある方。wifi等遠隔授業の準備や授業日程の変更に对应できること。
1	人間関係情報処理論	2	真覚 健	前期	金 4	書類	昨年度は受講生の都合で火6に実施したもので、本来は金4でした。
1	医療経済学	2	木村 眞子	前期	金 6	書類	授業日の日程変更に対応できること。パソコンやwifi等遠隔授業の準備が必要です。
1	疫学統計	2	秋原 潤	前期	金 4	書類	授業日の日程変更に対応できること
1	コンサルテーション論	2	菅原 よしえ	前期	月 6	面接	授業日の日程変更に対応できること
1	看護倫理	2	菅原 よしえ	前期	火 5	面接	授業日の日程変更に対応できること
1	看護教育学	2	竹本 由香里	前期	木 6	面接	授業日の日程変更に対応できること
1	看護管理学特論Ⅰ	2	金子 さゆり	前期	火 2	面接	看護師免許を有し、講義日時の変更に対応できる方 (要: パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
1	がん看護学特論Ⅰ	2	菅原 よしえ	前期	月 3	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護学特論Ⅱ	2	菅原 よしえ	前期	月 3	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護援助論Ⅰ	2	菅原 よしえ	前期	月 3	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護学演習Ⅰ	2	菅原 よしえ	前期	集中	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	在宅健康看護学特論Ⅰ	2	高橋 和子	前期	月 1	書類	看護師免許を有し、在宅看護に関心がある方。wifi等遠隔授業の準備や日程変更に対応できること。
1	精神健康看護学特論	2	小松 容子	前期	調整中	書類	講義日時の変更ならびに遠隔講義に対応できること
1	成人健康看護学特論	2	齊藤奈緒	前期	調整中	面接	看護師免許を有し、臨床看護に関心があり、講義日時の変更に対応できる方。(要: パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
1	病態生理学	2	風間 逸郎	前期	火 4	書類	
1	臨床薬理学	2	武田 和久	前期	木 6	書類	
1	地域健康看護学特論Ⅰ	2	安齋由貴子	前期	調整中	面接	看護師免許を有し、地域看護に関心があり、講義日時の変更に対応できる方。COVID-19等の影響で遠隔講義となった場合も対応できる方。
1	老年健康看護学特論Ⅰ	2	沢田 淳子	前期	木5	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方 (要: パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
1	老年健康看護学特論Ⅱ	2	沢田 淳子	前期	木2	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方 (要: パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
2	がん看護学実習Ⅱ	3	菅原 よしえ	前期	集中	面接	看護師免許を有し、がん看護専門看護師をめざしている方。
2	がん看護学実習Ⅲ	3	菅原 よしえ	前期	集中	面接	看護師免許を有し、がん看護専門看護師をめざしている方。
1	保健情報学	2	秋原 潤	後期	月 5	書類	授業日の日程変更に対応できること 演習を行うため、PCを持参できること
1	保健行動科学特論	2	平泉 拓	後期	火 3	書類	
1	看護政策論	2	木村 眞子	後期	金 6	書類	授業日の日程変更に対応できること
1	老年健康看護援助論Ⅰ	2	沢田 淳子	後期	木 4	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方 (要: パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
1	老年健康看護援助論Ⅱ	2	沢田 淳子	後期	木 5	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方 (要: パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
1	看護管理学特論Ⅱ	2	金子 さゆり	後期	火 2	面接	看護師免許を有し、講義日時の変更に対応できる方 (要: パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
1	がん看護援助論Ⅱ	2	菅原 よしえ	後期	月 1	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護学演習Ⅱ	2	菅原 よしえ	後期	集中	面接	がん看護に関心がある方。授業日時の変更に対応できること
1	がん看護学実習Ⅰ	4	菅原 よしえ	後期	集中	面接	看護師免許を有し、がん看護専門看護師をめざしている方。
1	在宅健康看護学特論Ⅱ	2	高橋 和子	後期	火6	書類	在宅健康看護学特論Ⅰを受講した方。wifi等の遠隔授業の準備や日程変更に対応できること。

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
大学院 看護学研究科 (博士前期課程)							
1	精神健康看護援助論	2	小松 容子	後期	調整中	書類	講義日時の変更ならびに遠隔講義に対応できること
1	成人健康看護援助論	2	齊藤奈緒	後期	調整中	面接	看護師免許を有し、臨床看護に関心があり、講義日時の変更に対応できる方。成人健康看護学特論を受講していることが望ましいが必須要件にはしない。(要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
1	基礎看護学演習Ⅰ	4	木村 眞子	後期	集中	面接	
1	老年医療学	2	沢田 淳子	後期	月6	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方で、講義日時の変更に対応できる方(要：パソコンやwifi等遠隔授業の準備)
1	看護研究方法特論	2	齊藤 奈緒	後期	調整中	面接	看護研究特論を受講した方が望ましい。授業日程の変更に対応できること。

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
大学院 事業構想学研究科 (前期課程)							
1・2	マネジメント	2	櫻木 晃裕	前期	木2	書類	
1・2	会計学	2	絹村 信俊	後期	木3	書類	
1・2	ストラテジー	2	高橋 修	後期	木5	書類	
1・2	マーケティング	2	高山 純人	前期	火3	書類	
1・2	経済システム	2	金子 浩一	後期	火2	書類	
1・2	社会システム	2	徳永 幸之	前期	月4	書類	
1・2	医療福祉システム	2	糟谷 昌志	前期	木3	書類	
1・2	ITマネジメント	2	大嶋 淳俊	後期	木2	書類	
1・2	データビジネス	2	安藤 裕	前期	月6, 7	書類	
1・2	税法Ⅰ	2	内田 直仁	前期	木5	書類	
1・2	ビジネスデザイン特別講義	1	内田 直仁	前期	集中	書類	
1・2	地域創生政策	2	青木 孝弘	前期	火4	書類	
1・2	地域開発政策	2	佐々木 秀之	前期	木4	書類	
1・2	地域経済分析	2	小沢 晴司	前期	木3	書類	
1・2	地域情報分析	2	高橋 信人	前期	火2	書類	
1・2	コミュニティビジネス	2	風見 正三	後期	木3	書類	
1・2	ソーシャルキャピタル	2	藤澤 由和	前期	木5	書類	
1・2	地域環境システム	2	石内 鉄平	後期	火3	書類	
1・2	地域農村開発マネジメント	2	郷古 雅春	後期	火2	書類	
1・2	地域と食農	2	千葉 克己	前期	火3	書類	
1・2	地域経済デザイン	2	宮崎 義久	後期	月5	書類	
1・2	ソーシャルデザイン特別講義	1	高橋 信人	後期	集中	書類	
1・2	文化環境デザイン	2	伊藤 真市	前期	火4	書類	
1・2	スペキュラティブデザイン	2	中田 千彦	前期	木3	書類	
1・2	デザインマネジメント	2	益山 詠夢	後期	火2	書類	
1・2	地域計画	2	小地沢 将之	前期	月3	書類	
1・2	素材・造形デザイン	2	土岐 謙次	前期	火2	書類	
1・2	空間活用事業	2	平岡 善浩	前期	火1	書類	
1・2	建築プログラミング	2	永井 秀幸	後期	火3	書類	
1・2	空間デザイン特別講義	1	平岡 善浩	後期	集中	書類	
1・2	知能メディアデザイン	2	太田 賢	後期	月2	書類	
1・2	感性情報アナリシス	2	茅原 拓朗	後期	月3	書類	
1・2	感性メディアデザイン	2	佐藤 宏樹	後期	月5	書類	
1・2	空間メディアシステム	2	蒔苗 耕司	前期	木4	書類	
1・2	インタラクションデザイン	2	鈴木 優	前期	木2	書類	
1・2	情報システムデザイン	2	須栗 裕樹	後期	木1	書類	
1・2	情報デザイン特別講義	1	茅原 拓朗	前期	集中	書類	

※全ての科目において日程変更に対応できること。

◆太白キャンパス提供科目

(食産業学群、大学院食産業学研究所 (前期課程))

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
食産業学群 (専門教育科目)							
2	生化学	2	金内 誠	前期	火 3	書類	
2	農産食品学	2	石川 伸一	前期	火 4	書類	
2	植物生理学	2	岩井 孝尚	前期	水 2	書類	
2	土壌肥科学	2	木村 和彦	前期	金 1	書類	
2	財務・会計論	2	(鈴木 翔太)	前期	木 2	書類	
2	インターンシップ	2	須田 義人	前期	木 4	書類	
2	食農素材化学	2	須田 義人	前期	金 2	書類	
2	食用作物学	2	鳥羽 大陽	前期	月 2	書類	
2	生産環境保全学	2	北辻 政文	前期	水 2	書類	
2	農業経済学	2	紺屋 直樹	前期	金 4	書類	
2	発生遺伝学	2	日渡 祐二	前期	火 1	書類	
2	生物有機化学	2	柳澤 満則	前期	火 4	書類	
2	食品企業組織論	2	(堀田 宗徳)	前期	集中	書類	
2	有機化学	2	菰田 俊一	前期	月 4	書類	
2	食料経済論	2	(川村 保)	前期	火 2	書類	
2	動物栄養・飼料学	2	井上 達志	前期	火 2	書類	
2	食品化学	2	毛利 哲	前期	金 2	書類	
3	食料・農業・農村政策	2	森田 明	前期	木 3	書類	
3	生産環境情報学	2	後藤 勲	前期	水 2	書類	
3	植物遺伝育種学	2	日渡 祐二	前期	金 4	書類	
3	露地園芸学	2	齊藤 秀幸	前期	火 1	書類	
3	動物遺伝育種学	2	須田 義人	前期	火 2	書類	
3	乳と卵の生産科学	2	井上 達志	前期	火 3	書類	
3	栄養科学	2	白川 愛子	前期	木 2	書類	
3	食品企業経営戦略論	2	三石 誠司	前期	金 2	書類	
3	ローカルフードシステム論	2	三石 誠司	前期	金 2	書類	
3	食品化学工学	2	庄子 真樹	前期	月 5	書類	
3	水産資源生態学	2	片山 亜優	前期	金 3	書類	
3	キャリアインターンシップ	2	須田 義人	前期	水 3	書類	
3	プログラミング基礎	2	原田 鉦一郎	前期	水 1	書類	
3	生物資源経済学	2	川島 滋和	前期	月 4	書類	
3	食材生産経営戦略論	2	(石井 勇人)	前期	金 2	書類	
3	環境科学	2	柳澤 満則	前期	木 4	書類	
3	食品マーケティング論	2	滝口 沙也加	前期	金 1	書類	
3	フードサービス事業運営論	2	丹治 朋子	前期	火 3	書類	
3	官能評価学	2	新任教員	前期	水 2	書類	
3	食産業政策論	2	作田 竜一	前期	火 4	書類	
3	食品機能開発学	2	西川 正純	前期	月 3	書類	
4	フードコミュニケーション	2	作田 竜一	前期	月 3	書類	
4	企業倫理	2	三石 誠司	前期	水 2	書類	
4	食感性科学	2	西川 正純	前期	木 3	書類	
3・4	水産増殖学	2	三上 浩司	前期	月 2	書類	
4	ライフステージ栄養学	2	西川 正純	前期	火 3	書類	
4	食産業・政策史	2	森田 明	前期	金 2	書類	
2・3	微生物学	2	笠原 紳	前期	月 1	書類	
2・3	食品衛生学	2	菰田 俊一	前期	金 1	書類	
3・4	生理学	2	森本 素子	前期	木 1	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
食産業学群（専門教育科目）							
1	フードマネジメント概論	2	森田 明	後期	金 2	書類	
2	畜産食品学	2	石川 伸一	後期	木 2	書類	
2	水産食品学	2	西川 正純	後期	月 2	書類	
2	食品マーケティング基礎	2	滝口 沙也加	後期	火 1	書類	
2	地域食産業論	2	西川 正純	後期	金 4	書類	
2	経済数学	2	川島 滋和	後期	火 3	書類	
2	キャリア開発	2	須田 義人	後期	水 3	書類	
2	植物保護学	2	中村 茂雄	後期	火 2	書類	
2	施設園芸学	2	菊地 郁	後期	金 3	書類	
2	肉の生産科学	2	須田 義人	後期	金 2	書類	
2	動物生殖学	2	小林 仁	後期	火 2	書類	
2	アグリビジネス論	2	紺屋 直樹	後期	木 2	書類	
2	応用統計学（生物生産）	2	須田 義人	後期	月 3	書類	
2	応用統計学（フード）	2	（川村 保）	後期	火 2	書類	
2	水棲動物学	2	片山 亜優	後期	金 5	書類	
2	水棲植物学	2	三上 浩司	後期	金 1	書類	
2	分子生物学	2	森本 素子	後期	水 1	書類	
2	食品貯蔵・流通技術論	2	毛利 哲	後期	木 1	書類	
2	食品流通論	2	緩鹿 泰子	後期	金 3	書類	
2	食品工学	2	庄子 真樹	後期	木 3	書類	
2	調理科学	2	石川 伸一	後期	月 3	書類	
2	食品企業経営論	2	三石 誠司	後期	金 1	書類	
3	実践キャリア開発	2	須田 義人	後期	水 2	書類	
3	食材生産経営学	2	川島 滋和	後期	月 2	書類	
3	付加価値食材生産法	2	井上 達志	後期	水 1	書類	
3	暮らしと作物	2	中村 聡	後期	木 1	書類	
3	食品の安全性管理	2	西川 正純	後期	木 2	書類	
3	発酵食品・醸造学	2	金内 誠	後期	金 3	書類	
3	グローバルフードシステム論	2	森田 明	後期	金 2	書類	
3	動物生産管理学	2	井上 達志	後期	月 3	書類	
3	現代食農ビジネス論	2	（石井 勇人）	後期	火 1	書類	
3	環境微生物工学	2	柳澤 満則	後期	金 2	書類	
3	食品情報科学論	2	緩鹿 泰子	後期	月 3	書類	
4	食と未来（フード）	2	毛利 哲	後期	木 5	書類	
2・3	アグロテクノロジー	2	伊吹 竜太	後期	月 1	書類	
2・3	フードサービス産業論	2	丹治 朋子	後期	水 2	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
大学院 食産業学研究科（前期課程）							
1	食産業学研究特論	2	石川 伸一	前期	木 1	面接	
1・2	栄養機能科学特論	2	森本 素子	前期	月 4	面接	
1・2	食産業政策特論	2	森田 明	前期	火 3	面接	
1・2	データサイエンス特論	2	須田 義人	後期	火 2	面接	



※開講曜日・時間帯については令和6年1月現在調整中です。変更になる可能性もありますので、  
事前に宮城大学事務局学務課教務第1グループ宛てお問合せください。

【宮城大学事務局学務課教務第1グループ】

Tel : 022-377-8212

E-mail : kyoumu@myu.ac.jp

宮 城 大 学 <a href="http://www.myu.ac.jp/">http://www.myu.ac.jp/</a>	
◆大和キャンパス 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1	◎看護学群 看護学類 ◎事業構想学群 事業プランニング学類 地域創生学類 価値創造デザイン学類 ○看護学研究科 ○事業構想学研究科
◆太白キャンパス 〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立2-2-1	◎食産業学群 生物生産学類 フードマネジメント学類 ○食産業学研究科